

## 『姿勢から介入する摂食嚥下 脳卒中患者のリハビリテーション』 正誤表

『姿勢から介入する摂食嚥下 脳卒中患者のリハビリテーション』（2017年9月1日発行 第1版第1刷）において、記述に誤りがありました。  
ここに深くお詫びし、訂正申し上げます。

2018年2月6日 メジカルビュー社編集部

	誤	正
p.106 5行目	徐々に両股関節ベッド上に下ろし	徐々に両股関節を中間位に戻しながら ベッド上に下ろし
p.109 4行目	背の方向に緩めるという、骨盤の運動	背の方向に緩め、骨盤の運動
p.154 食物の把持 バネ付き箸-対象	場合や、母指と箸先を合わすことが	場合や、箸先を合わすことが
p.194 22行目	可能性があり、PTが頭頸部を回避する ような	可能性があり、PTが頭頸部の過伸展を 回避するような